

ごあいさつ 7月の西日本豪雨災害では弊社のある大和町でも想像をはるかに超える被害が発生しました。すべての皆さまの安全と被災地の復興を心からお祈り申し上げますとともに、皆で助け合い出来る事から少しずつ前へ進んでいきましょう。



6月末にお邪魔してきました! コチラのご近所の木原地区も被災されたなか、復興に向けて皆さま頑張っておられます。

## 地盤地帯 コーナー 「きはら楽観堂」さん

2015年10月オープン!!

三原と尾道の間にある木原地区に、車一台しか通れない狭い路地を上がっていくと、自費出版で本も出されているオーナーさんが、こだわりのスパイスカレーと喫茶とお菓子のお店をされています。店内に入ると沖縄とインドを融合させたような音楽が流れ、ゆったりとした時間を感じます。絵本や木馬もあり、小さいお子様連れでも安心して立ち寄れます。暑い夏にはスパイスの効いたカレーとチャイ(インドのミルク紅茶)がオススメです!



**information**

**きはら楽観堂**

- 住所: 三原市木原3丁目15-1 (尾道バイパス入口から約100M西寄り。踏切越えて緑ののぼりが目印)
- 電話: 090-1182-5781
- 営業: 11時~17時 ● 定休日: 月・日曜
- ホームページ: okuraitaa.seesaa.net

ぜひ行ってみたい下さいね



▲Mr. オクラとオーナーの清田学(セイダマナブ)さん。インスピレーションで感じた事とあなたのお名前をアレンジしたメッセージを色紙に書いてもらえます。(1枚¥1000)

**住まいるレターの発行に寄せて...**

あらためて、この度の西日本豪雨災害で無くなられた方にお悔やみ申し上げます。今回の8月号を作成している最中に災害が発生致しました。ご近所が被災されて大変な中にも関わらず、掲載に承諾いただいた「きはら楽観堂」さまありがとうございます。そして7月6日の夜、弊社の裏山も崖崩れが発生し濁流が庭へも流れ込んできました。その時に危険も顧みず、濁流をせき止める為に土のうを一緒に積み上げて下さった中村さま、松本さまにもこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

本当にありがとうございました!!

専務 小倉 一弥 小倉 加苗

# 一期一家 緊急時編

自宅が水害に遭ってしまったら

この度の災害では、土砂崩れや浸水による家屋への被害が出ております。このような事は二度と起きてほしくはありませんが、今後も異常気象で集中豪雨が増える事が予想されます。こうした事を踏まえて、今回の一期一家コーナーでは、自宅が浸水した場合、どうすれば良いかの特集をいたします。被災時は、まず自分の身の安全を確保したうえで被害の後始末に取りかかりましょう。



## ① 浸水被害の状況は、補償の為に必ず撮影する!!

とにかく写真をスマホやデジカメで撮っておきましょう。色んな角度から沢山写真を撮っておく事をおすすめします。補償に関しては「罹災(りさい)証明書」をお住まいの役所へ申請します。罹災証明書が発行されると被害に応じて生活再建支援金(補助金)を受ける事ができます。

浸水被害にあった家具や家財の写真を撮る前に片付けてしまうと証明が難しくなりますのでご注意ください。

あわせて加入されている建物保険も問い合わせをして担当の方に相談をしておくのもお忘れなく。



## ココにご注意を...

「罹災証明書」は高齢のお年寄りの方だけでお住まいの場合、記入及び申請はちょっと難しいかもしれません。ましてや被害状況の写真を撮る事も困難だと思います。申請は基本、世帯主とされていますが、遠方にお住まいの方は、委任状があれば弊社でも対応出来ますのでお声掛けください。



## ② 床下に浸水があれば、水抜きが重要!!

床下の暗い空間に溜まった水はなかなか乾きません。木造の家にとって大敵なのは湿気。それによってカビが発生したり、木材の腐敗が早まったり、悪臭が家中に立ち込めたりします。それを防ぐためにも早い段階での水抜きが重要です。

- 床下の水かさ3~4cm以上ある場合  
水中ポンプを使用してください。ホームセンターで1万~2万円位のモノが排水能力も高いのでオススメ。その際、水中のゴミがポンプに絡む場合は、台所で使用するザルをポンプの下に置いて下さい。
- 床下の水かさ1~2cm以下の場合  
ポンプで吸引するのは困難なので、チリトリで水をかき集め、スポンジやタオルで吸い取ってバケツに移す作業を繰り返すしか方法はありません。



## 暑くても必須!

水害にあった時に一番怖いのは感染症です。床下は尖った木材もあつたりします、その上に濡れた皮膚は柔らかくなり傷つきやすい状態になっています。ですので水抜き作業の服装は注意してください。

- 長袖に長ズボンに長ぐつ (肌の露出は避けて下さい)
- 出来れば軍手の上にゴム手袋装着 (軍手だけだと、とげは貫通するので)



## ③ 水を抜いてからも重要、換気をして消毒も!!

②の方法で水をかきだしたら自然乾燥を待たずに、扇風機などで強制換気して早く床下を乾かしましょう。そして床上も浸水した場合は清掃後に消毒をしましょう。薬局にある塩化ベンザルコニウムを100倍に水で薄めて使用します(2リットルのペットボトルでキャップ4杯分を入れればOK)。それを噴霧器で撒き、あとは自然乾燥です。床下も泥をかき出してとにかく乾燥させ、ニオイがするようなら撒きます。わざわざ購入しなくても被災地では役所が消毒剤を配布してくれます。(実際大和町でも保健福祉センターで消毒剤を配布しておられました。)



## 最後に...

このような災害が起きると出てくるのが悪徳業者。電話で「シロアリが出るから、すぐに排水と消毒作業を行う必要があります」と言い、不安をあおって高額な費用をとる業者がいます。たしかに、床下浸水し、湿った状態のままだと菌が繁殖したり、シロアリが発生する場合がありますが、すぐに何かが起こるわけではないので落ち着いて行動することが大事です。特に「高額な扇風機を設置する...」というようなときは、相手にしない事です。



一級建築設計事務所

**OGURA (有)小倉建設**

〒729-1405 広島県三原市大和町上徳良 4015

TEL:0847-33-1566 FAX:0847-33-1588 E-mail:ogu-ogu@mail.mcat.ne.jp

ブログ 更新中!

三原市 3代目専務 検索

ホームページはこちら!

三原市 小倉建設 検索